

パルシステム東京 震災復興支援基金「パル未来花基金」助成活動レポート

震災復興支援基金「パル未来花基金」の助成を受けて、復興支援活動に取り組みました。その取り組みについて、組合員の皆さんにご報告します。

グループ名	星空キッズツアー
支援対象者・エリア	福島県内在住の子どもと保護者（希望者）
企画開催地	山梨県北杜市武川町・高根町清里
企画名称	星空キッズツアー2022 in 清里
実施期間	2022年8月5日（金）～7日（日）

支援活動の目的・内容・感想

（どうしてこの活動をはじめたのか、どのようなことに取り組んだのか、取り組んだ感想など）

3. 11 震災後の原発事故による放射能の影響から避難するために、2011年から取組んでいます。夏休みを利用して、星のきれいな清里で2泊3日を過ごします。当初は、放射能をなるべく避けるということが大きな目的でした。夜にうなされる子、鼻血を出す子、食欲のない子、熱を出す子など、体の不調を訴えるお子さんが多く、表情も硬く精神的にも緊張を強いられている様子でした。2020年からはコロナ禍も重なり、子どもたちは日頃我慢を強いられる生活を送っていることから、ツアーではなるべく自由に遊ぶ時間を確保しようと実施しています。2021年はコロナ禍ながら準備を進めていましたが、東京の緊急事態宣言を受けて宿舎が休館となり、直前の中止にスタッフもがっかりしました。そのようなわけで2022年は再開と言うより再出発の保養となりました。コロナの心配は払拭できず、スタッフは出発前にPCRか抗原検査をしました。

1日目は福島、郡山から貸切り大型バスで山梨県北杜市武川まで直行しました。みんなのおうち公園に到着し、しばらく自由遊びをした後に、近くの「むかわの湯」（温泉）に行き、お互いにリラックして打ち解けることができました。夕飯は、地元のお米や野菜、ジビエのロースト肉など野外でビュッフェ形式で美味しくいただきました。夜、希望者はテントに泊まりました。2日目は近くの大武川で本格的な川遊びをしました。初めて川で泳ぐ子どももいました。川遊びが苦手な子は、ドリームキャッチャーを手作りするなど、別の楽しみを見つけた子もいました。みんなのおうち公園には大きな木にハンモックやブランコがあり、ターザンロープも設置して思う存分遊びました。夕方には清里に移動して、調布市八ヶ岳少年自然の家泊まりました。体育館があり、夜まで思いっきり遊びました。3日目は清泉寮付近の森を散策し、やまねミュージアムを見学しました。

1, 2日目にお世話になったみんなのおうち公園は、保養のために代表の星さんを中心に作り上げてきた素敵な空間とスタッフ、安全でおいしいものがそろっていました。多いときには100人を、あるいは長期保養も受入れてきた経験は、東京のスタッフにとっては大きな安心でした。おうち公園の保養リピーターの福島出身も含む若者スタッフが、がっつり子どもたちと付き合ってくれました。地元や東京などから集まったおうちスタッフと一緒に保養ができたことは、星空キッズツアーの新しいかたちを思い描けるうれしい出会いでした。

放射能の影響が心配になって、最近、保養に参加するようになったという参加者もありました。一方で、震災からの年月やコロナ禍が理由で保養事業が減っていると聞きます。今後は、おうちスタッフとのジョイント開催や中学生以上のリピーターが参加者の遊び相手になったり、保護者も運営に関わってもらうなど、「福島の人々と作る保養」を模索しつつ、開催できればと考えています。細くても、求める方がいる間は続けていきたいです。

活動の様子（写真など）

1日目 みんなのおうち公園 大きなくみの木の下で



2日目 川遊び ターザンロープ ドリームキャッチャー作り すいか割り



調布市八ヶ岳少年自然の家に

3日目 清里の森散策 ヤマネミュージアム

